

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月 8日 更新

事務事業名		防災士育成事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健幸		所属部	総務部
	施策	14	防災・危機管理対策の推進		所属課	安全安心課
	業務分野	45	災害予防対策		所属班	防災対策班
課長名	田代 純児		担当者名	宮崎 大輔		(内線)
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法根拠
	一般	9	1	4	11717	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	地域における防災力の向上の担い手となる人材を育成することにより、災害に強いまちづくりを推進するため、防災士養成講座を開催し、防災士の育成を推進した。 また、平成30年度に設立した防災士連絡協議会との情報交換・連携を図り、防災訓練や研修を行い市全体の防災力の向上を図った。
【業務の流れ】	防災士養成に伴う要請講座の開催、防災士連絡協議会の事務局運営等
【主な予算費目】	・職員手当等 ・報償費 ・需用費 ・役務費 ・負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

防災士資格取得の為に養成講座を2市2町(菊池市、合志市、菊陽町、大津町)により共同で開催した。本養成講座等により、新たに34名が市内防災士の資格を取得し、市の防災士数が220名に増加した。また、防災士連絡協議会運営事務として、役員会及び総会等の開催及び協議会新規プロジェクトとして防災士(協議会員)の中からリーダーとなる人材を育成する、SP防災士プロジェクトを行った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

- ・防災士養成講座を共同開催する。(菊池市、合志市、菊陽町、大津町の4市町)令和7年度は合志市が事務局となる。
- ・防災士資格取得に係る関係費の補助金の支払い。
- ・防災士連絡協議会の役員会及び総会の開催。

③予算の主な増減の理由

令和7年度防災士養成講座(菊池管内2市2町で合同開催)が合志市で開催となるため事務局として運営することに伴う講師謝礼等の報償費の増

成果指標

ア	防災士養成講座を運営したことによる市内防災士認証登録者数	人	データ取得方法
イ			
ウ			

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	人	177	183	260	220	250	280	310	0
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	1,018	732	1,011	943	1,817	1,552	1,552	1,552
(A) 事業費計	千円	1,018	732	1,011	943	1,817	1,552	1,552	1,552

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

今年度は広報やチラシ等による周知やオンライン申請導入の成果により、定員30名を超える34名の参加申込があり、34名の防災士が誕生した。令和7年度は合志市で開催するため、広く市民に周知し、令和6年度同様、定員まで参加者を増やし、より一層、市内防災士の拡大を図りたい。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)